

学科名	電気通信工学科・建築・デザイン学科							
科目名	産業技術と倫理 Ethics of Industrial Engineers							
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	1年次後期			
必修・選択の別	電気通信工学科：必修科目(電子情報コース)／選択科目(電気電子コース)／選択科目(情報通信コース) 建築・デザイン学科：選択科目							
担当者	西田 治男 Haruo NISHIDA							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同体の一員であるということの認識と自己の行為の倫理性が共同体に与える影響を考えられる。 ・技術者の本質であるものづくりに倫理が強く結びついていることを認識できる。 ・企業倫理に根ざした新しい経営論理を把握できる。 ・知的財産や営業秘密の意味を理解し、それらの権利問題について解釈できる。 ・製造物責任や環境影響について理解し、技術者の考え方の中に社会や環境への配慮が必要であることを認識できる。 							
日程と内容	10/11 第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、産業技術と倫理とは何か 10/11 第2回：倫理とは何か 共同体に成立する倫理体系の理解 10/11 第3回：技術者にとっての倫理 ものづくりの倫理の理解 10/11 第4回：技術者とは何か 歴史の中の技術者 専門職としての技術者 10/11 第5回：技術者倫理と企業倫理 経営の倫理と企業・技術者の倫理的責任の理解 10/18 第6回：内部告発の倫理 内部告発を巡る社会と企業の変化の理解 10/18 第7回：製造物責任法(PL法)を理解する 10/18 第8回：安全性とリスク リスクコミュニケーションの理解 10/18 第9回：知的財産と営業秘密 特許法の概要と職務発明、守秘義務の理解 10/18 第10回：環境・資源の倫理1 環境問題と産業技術についての概要 11/29 第11回：環境・資源の倫理2 循環型社会の構築の理解 11/29 第12回：研究の倫理 発見と発明、先取権の尊重原則などの理解 11/29 第13回：国際化と異文化摩擦についての理解 11/29 第14回：科学技術と公共性についての理解 11/29 第15回：技術者倫理に関する最近のトピックスと総合討論							
成績評価基準	定期試験	80%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	概ね達成された。							
反省点	土曜日に1日5コマの集中講義で、学生の集中力を維持させることが、例年と同じく難しかった。できる限り現代の情勢を盛り込み、かつフレキシブルな時間配分を行ったが、学生個々人の興味や集中度が異なるため、必ずしも効果的とは言えなかった。							
来年度の計画	現代の状況をふんだんに盛り込み、よりフレキシブルな時間配分で、学生の集中のタイミングを合わせる努力を行う。							
授業評価アンケートに対するコメント	学生との意見交換の機会を設けようとしたが、積極的な意見が殆ど出てこない状況であったため、コミュニケーション不足があったことは否めない。倫理は社会性を基本としたものであるから、他人との意見交換は必須であることを、受講生により分かるように講義を進めていきたい。1日5コマの集中講義であるため、予習復習があまりできなかったことは、無理もないことである。							
履修登録者数	75名	定期試験 受験者数	57名	合格者数	54名	合格率	95%	